

事業名	平成 28 年度域学連携による地方創生セミナー開催事業	
活動形態	開催場所	珠洲市
	活動人数	38 名
	期間	平成 28 年 11 月 18 日
活動概要	<p>金沢大学能登学舎において、「域学連携」をテーマに、県外事例を知るとともに受入れ側の自治体職員同士の交流を通じて、これからの域学連携を推進するポイントを学び合うセミナーを開催した。</p> <p>&lt;域学連携による地方創生セミナー&gt;  日 程：平成 28 年 11 月 18 日（金）  参加者：38 名（自治体職員及び大学関係者）</p> <p>○ 事例報告  域学連携に関する県内外の事例について各担当者から報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「思いをカタチに－種子島での取組みを例として－」  鹿児島県西之表市経済観光課商工政策係 岩下 栄一 氏</li> <li>・「学故創新－対馬市における域学連携－」  長崎県対馬市しまづくり推進部市民協働・交通対策課域学連携担当主任 前田 剛 氏</li> <li>・「木島平村糠千地区の域学連携事業」</li> <li>・「学生と地域のつながり－輪島市三井地区－」  石川県輪島市企画課里づくり推進室 野中 淳也 氏</li> </ul> <p>○ 分科会  参加者がテーマごとに 3 グループに分かれ、分科会を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1 分科会「インターンシップのあり方としくみづくり」  ファシリテーター 金沢星稜大学 池田 幸應 教授</li> <li>・第 2 分科会「域学連携における課題設定」  ファシリテーター 石川県企画振興部企画課 杉本 拓哉 主任企画員</li> <li>・第 3 分科会「連携事業を進める自治体職員の役割」  ファシリテーター (株) 計画情報研究所 安江 雪菜 氏</li> </ul> <p>○ 全体会  各分科会からの報告  総括 内閣府地方創生推進事務局地方創生推進室 澤田 史朗 参事官  金沢大学地域連携センター 宇野 文夫 特任教授</p> <p>(コメント抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生受入れ側の育成の重要性とともに、担当者だけに負担を強いるのではなく、多様で横断的な受け入れ態勢として「コーディネーターズ」を段階的に作っていく仕組み等が提案。</li> </ul>	

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>• 行政職員が地元の意見を聞き調整していく力やまとめる能力が不足しており、人材育成の場が重要となっている。</li><li>• チームでプロジェクトにあたることの重要性、将来的に中間支援組織ができたとしても、それに関わる職員個人のコミットメントや意識化が必要。</li></ul> |
|--|--|